

の だ 野田遺跡発掘調査説明会資料

公益財団法人 山形県埋蔵文化財センター 平成 29 年 11 月 5 日 (日)

調査要項

| | |
|-------|---|
| 遺跡名 | 野田遺跡 |
| 所在地 | 山形県飽海郡遊佐町北目字野田ほか |
| 時代・種別 | 縄文時代、奈良・平安時代の集落遺跡 |
| 起因事業 | 日本海沿岸東北自動車道(酒田みなと～遊佐) |
| 調査委託者 | 国土交通省東北地方整備局酒田河川国道事務所 |
| 調査機関 | 公益財団法人山形県埋蔵文化財センター |
| 現地調査 | 平成 29 年 6 月 1 日から 11 月 29 日まで |
| 調査面積 | 7,050m ² |
| 調査担当者 | 調査研究専門員 齊藤主税(現場責任者) 専門調査研究員 植松暁彦 調査員 阿部明彦 |
| 検出遺構 | 掘立柱建物跡、井戸跡、土坑、溝跡など |
| 出土遺物 | 縄文土器・石器(縄文時代)、土師器、須恵器、木製品(斎串・井戸杵材)・ 石製品(砥石)、鉄滓など |



図 1 遺跡位置図 (1/25,000)

1 調査の概要

野田遺跡は、遊佐町北端の丸子地区の水田中に所在し、高瀬川右岸の自然堤防(微高地)上に立地します。標高は約 3 m です(図 1)。

遺跡は、日本海沿岸東北自動車道(酒田みなと～遊佐)の一部にあたり、平成 28 年 8 月に県教育委員会が事業区内を踏査し発見、同年 10 月に試掘調査を行い、遺跡範囲や遺跡までの深さがわかりました。その内容を基に、関係機関の協議の結果、(公財)山形県埋蔵文化財センターが平成 29 年 6 月から発掘調査に入ることになりました。

2 見つかった遺構と遺物

今回の調査では、調査区中央部の微高地から奈良・平安時代(約 1,200 年前)の掘立柱建物跡や、井戸跡、土坑、溝跡などが発見され、その両端の調査区東側と西側の低地では湿地跡などが確認されました。

他に、同じ地区から縄文時代(約 2,500 年前)の土坑や土器、矢じりなど石器が若干出土しました。

掘立柱建物跡(SB)は、直径約 30cm 程度の柱穴からなり、一部には柱根が残るものや、柱が沈下しないように礎板を底面に敷くものもあり、概ね 2×3 間前後の小規模な建物が多いようです。その分布状況からは、概ね 4～5 棟がほぼ南北軸に沿って、微高地に配置されるようです。なお、柱穴からは、土器片の他に、鉄滓が出土し、当時鍛冶などが行われた可能性があります。

井戸跡(SE)は、木製の井戸杵があるものと、素掘りのものがあります。SE101 井戸跡は、井戸杵が長さ約 1 m の平面正方形で、その井戸杵を設置するための掘り方は直径約 3 m、深さ約 1.5 m と大形です。特に井戸杵は、一辺に縦板が 4～5 枚配置され、内側に数段の横棧で組まれています。この地域は、

鳥海山からの湧水が豊富で、木材が水に守られ腐らずに残ったようです。井戸掘りからは墨書土器・線刻土器も出土しました。他にこの井戸跡の周辺には、直径約 2 m、深さ約 1 m の素掘りの井戸跡も幾つか見つかっています。

土坑(SK)は、主にゴミ捨て用の大型の穴とされます。調査区の北側と南側にまともって確認されました。特に SK 2、SK102 土坑では、斎串がまともって出土し注目されます。斎串は、長さ約 20cm の木製の細長い板の先端などを三角に加工したもので、当時の地鎮や厄払いなどお祭りの際に使われました。当時の出羽国の役所(国府)である酒田市城輪柵跡周辺では、多く見つかったいましたが、遊佐町では平安時代のものはあまり確認されておらず貴重な資料といえます。

他に SK102 土坑からは、斎串と共に火きり白や建築部材なども出土しました。

溝跡(SD)は、調査区中央部と低地の境

に沿って、長さ約 5～10 m、幅 30～50cm のものがほぼ同じ方向に走っています。これらには、集落の区画溝や道路の側溝の役割などが考えられます。

湿地跡(SX)は、調査区中央部の東側と西側の低地に広がり、黒い泥炭土が堆積しています。泥炭土の上面には西暦 915 年に噴火により降下した、青森県の十和田火山灰層も堆積します。この湿地跡からは、縄文時代の石器や古代の土器片が若干出土しました。

3 まとめ

今調査では、特に奈良・平安時代の 8 世紀後半～9 世後半の約 100 年間に亘る遺構が、低湿地に囲まれた南北の微高地に集中して見つかると、断続的に営まれた集落の変遷過程を把握できたことが成果の一つです。また、一般には腐って消滅する木製品や鉄製品が数多く出土し、当時の生活を知る上での貴重な資料が得られました。



重機による表土除去と面整理状況(北から)



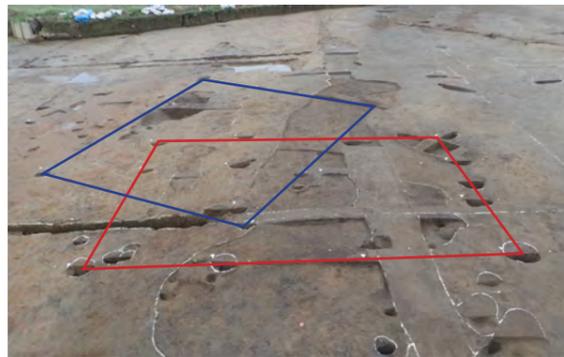
SE 101 井戸跡の精査状況(北から)



SK 2 土坑出土の斎串記録状況(北から)



調査区の遺構検出状況(空中撮影・写真上が東)



掘立柱建物の柱穴群の精査状況（南から）



掘立柱建物の柱穴の柱根断面（南から）



S E 101 井戸跡の井戸枠の土層断面（南から）



S E 101 井戸跡の井戸枠の縦板・横棧（南から）



S K 2 土坑の土層断面（南東から）



墨書土器



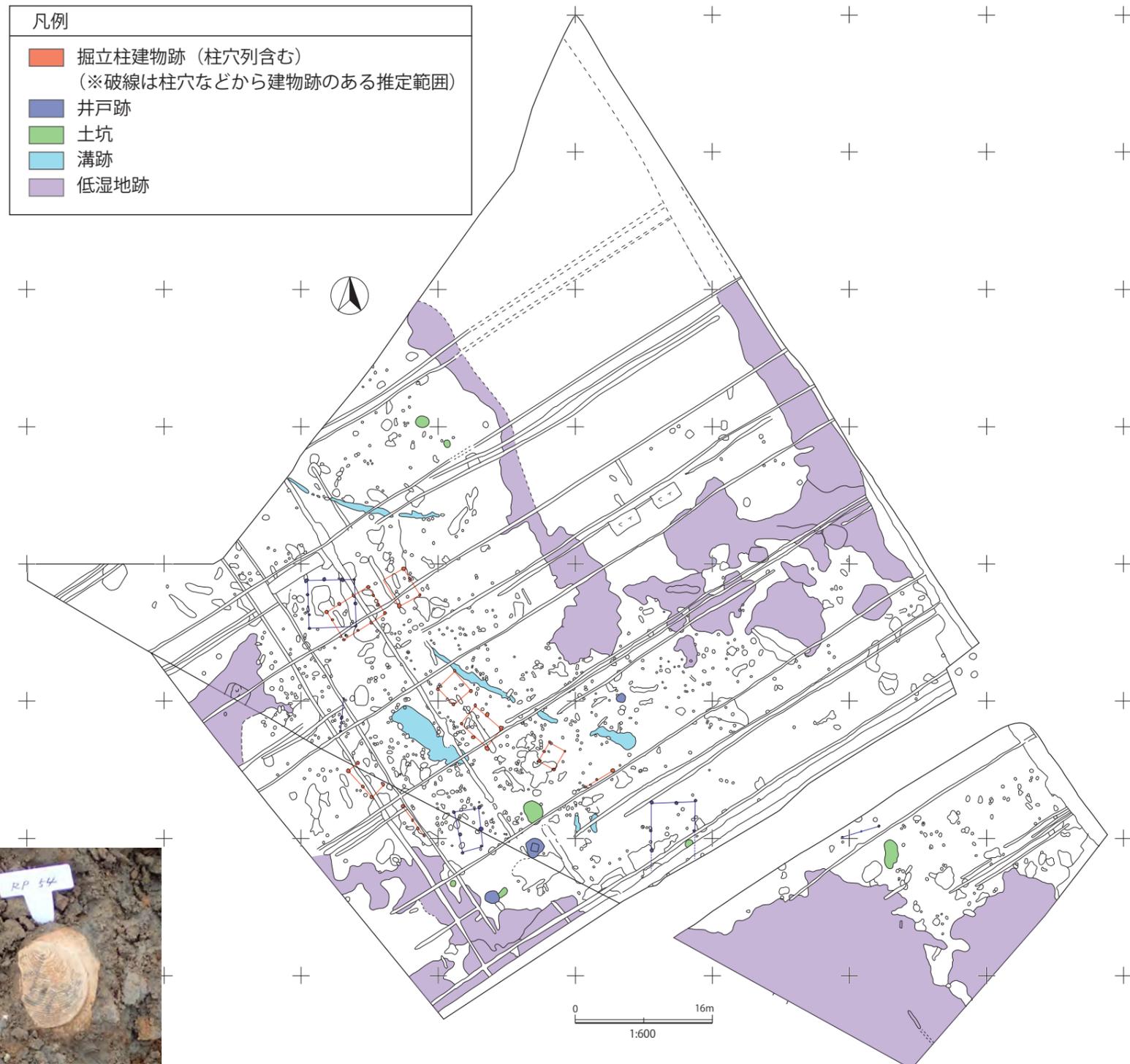
S K 2 土坑の齋串出土状況（南から）



土坑群の精査状況（南から）



同一方向の溝跡の精査状況（南から）



南区の低湿地跡（西から・写真手前）



奈良時代の須恵器坏の出土状況（南から）



平安時代の火きり白の出土状況（南から）



平安時代の鉄製紡錘車の出土状況（北から）



縄文時代の黒曜石製矢じり出土状況